

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	神奈川県
-------	------

学校の概要

学校名	川崎市立 東菅 小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教職員
学級数	3	2	3	2	3	3	3	19	25
児童数	105	78	105	77	99	95	9	568	

研究の概要

1. 研究主題

<p>わかった できた たのしいね ~ きめ細かい支援と子ども同士の学び合いを通して ~</p>

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

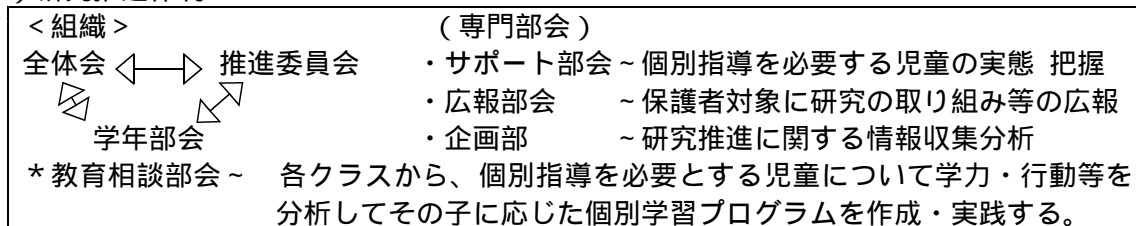
<p>1年生～6年生 「算数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる、できないの差や状況が把握しやすいため。 ・個々の学習状況に応じた指導法とその経過を把握でき、考察することができるため。 ・指導の目標と児童個々の学習のめあてがもちやすいため。 ・児童が個々の学習のめあてをもつことによりお互いの教え合い活動がしやすいため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ～「わかった、できた、たのしいね」 一人ひとりの力に応じた学習の楽しさが体験できるようにする。 研究の見通し 子ども一人ひとりが参加し、わかる授業を目指してきめ細かい支援とお互いの学び合いを通して学習を広め・深め、学習の力が伸びていく楽しさを体験できるようにする。 研究の内容 個々の力が伸びる学習過程 ・教材開発 ・指導体制 ・グループ編成 支援・評価(自己・相互評価)と個々の学習のめあて</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ～「わかった、できた、たのしいね」 自分の学習の道筋を立て、今の学習をもとにさらに広く・深く追及する楽しさを体験できるようにする。 研究の見通し わかった・できたを基礎にさらに学習を広め・高める方法を見つけ、問題解決学習を通して学習する力を高める。 研究の内容 個々の力が伸びる学習過程 ・教材開発 ・指導形態 ・グループ編成 支援・評価(自己・相互評価)と個々の学習のめあて</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

低学年は算数に関しては「できる」がはっきりしているのに「好き」と答える子どもが半数以上いるが、学習が論理的になってくる高学年では逆に「好き」と答える子どもは半数以下である。今年度は「できるようにする低学年」「つまづきやこだわりを解決しできるようにする高学年」と焦点を絞り取り組んでいる。

学習過程の工夫 ~ 個々の学習状況に応じて、最高でも3つのコースに分けそれぞれ教師を当て指導している。

教材の工夫 ~ 繰り返し練習、こだわりの解消・つまづきの解決等とそれぞれの目的に応じて教材の工夫に取り組んでいる。

支援と評価 ~ 個々の学習状況に適応した支援と学習意欲につながる評価について取り組んでいる。

指導体制と子ども同士のグループ編成

~ 少人数制を基本に指導体制の工夫と異質グループ、習熟度グループと学習の状況に応じた編成の仕方を工夫している。

できるようになったから、教えてくれたから楽しいと答える子どもが増えつつあるが、学力がどの程度定着しているか、その面からもさらに研究内容を考察する必要がある。

2. 今後の課題

研究テーマにせまるためには子ども達の意識の変容を基に考察してきたが、次のようなことが課題として考えられる。

- ・学習したことがどの程度定着しているか。
- ・できたということから、考えることが好きだという意識まで高めるための指導法の工夫をどうしたらよいか。
- ・全員が満足感を味わえるような教材開発をどう工夫したらよいか。

学力等把握のための学校としての取組

全校一斉テスト実施 (TK式標準学力検査)

- ・目的 ~ 既習の学習内容の理解度を調べる。
- ・内容 ~ 2年生から6年生まで全員に国語と算数の検査を実施する。
- ・期間 ~ 5月下旬に実施する。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究報告会は16年度の2月に予定している。15年度は報告会の予定なし。

- ・保護者への説明は12月に実施し、理解を求めた。

フロンティアティチャーとして、他市部や他校の研究研究会に参加し情報提供をする。本校の研究実践を保護者や本市の研究会等にHPやパンフレット等で報告し情報交換をする。



次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること（複数チェック可）

【新規校・継続校】	1 5 年度からの新規校	1 4 年度からの継続校		
【学校規模】	6 学級以下	7 ~ 1 2 学級		
	1 3 ~ 1 8 学級	1 9 ~ 2 4 学級		
	2 5 学級以上			
【指導体制】	少人数指導	T . T による指導		
【研究教科】	国語	社会	算数	理科
	生活	音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	